

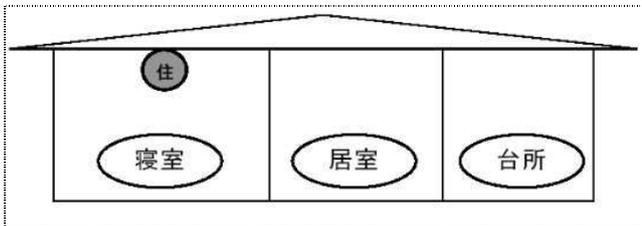
住宅用火災警報器はどこに・どう設置すればいいの？

1 設置場所

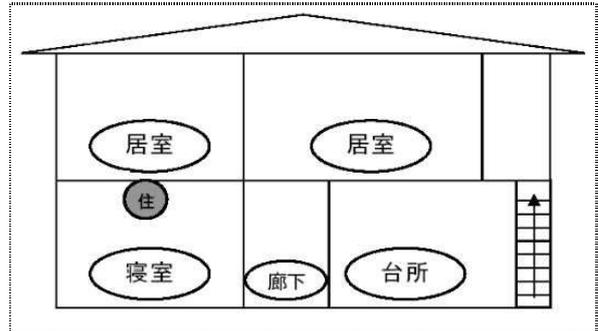
基本的には「全ての寝室」、「2階以上に寝室がある場合、その階の階段上部」、「寝室が無くても、同一階に4畳半以上の居室が5つ以上ある場合、その階の廊下」に設置が必要ですが、様々なパターンがありますので設置例を参考にしてください。台所への設置義務はありません。

【設置例】

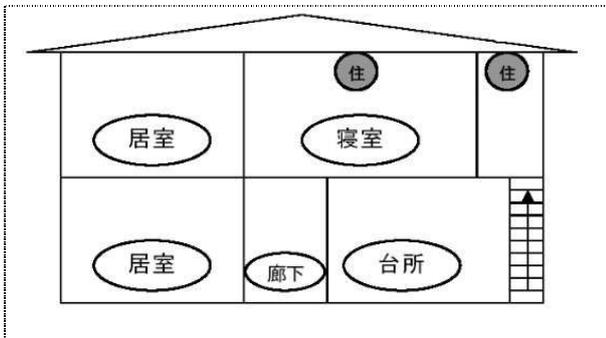
(1) 平屋建てで寝室が1室のみの場合



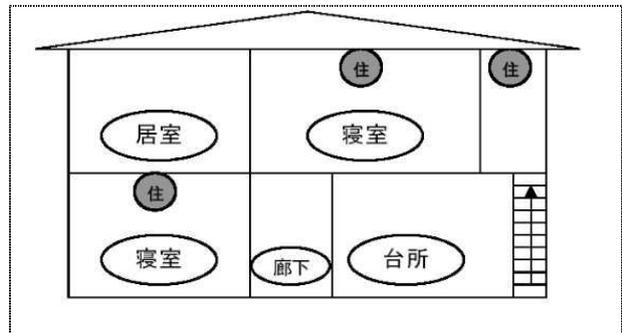
(2) 2階建てで寝室が1階に1室のみの場合



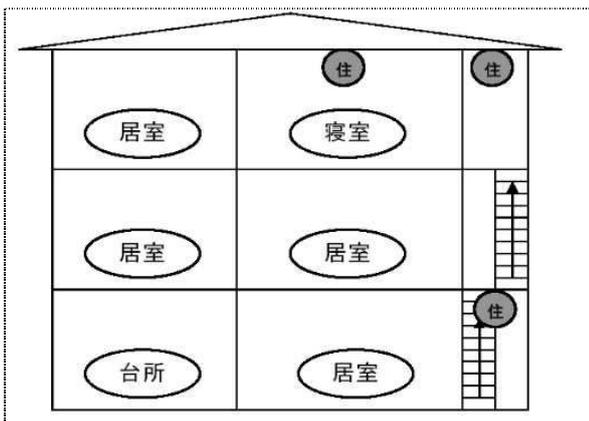
(3) 2階建てで寝室が2階に1室のみの場合



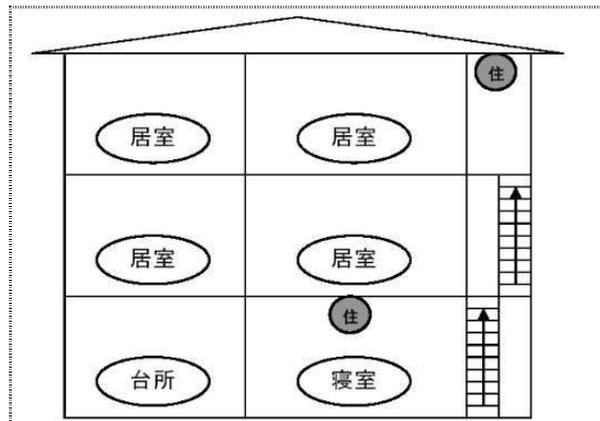
(4) 2階建てで寝室が1、2階に各1室の場合



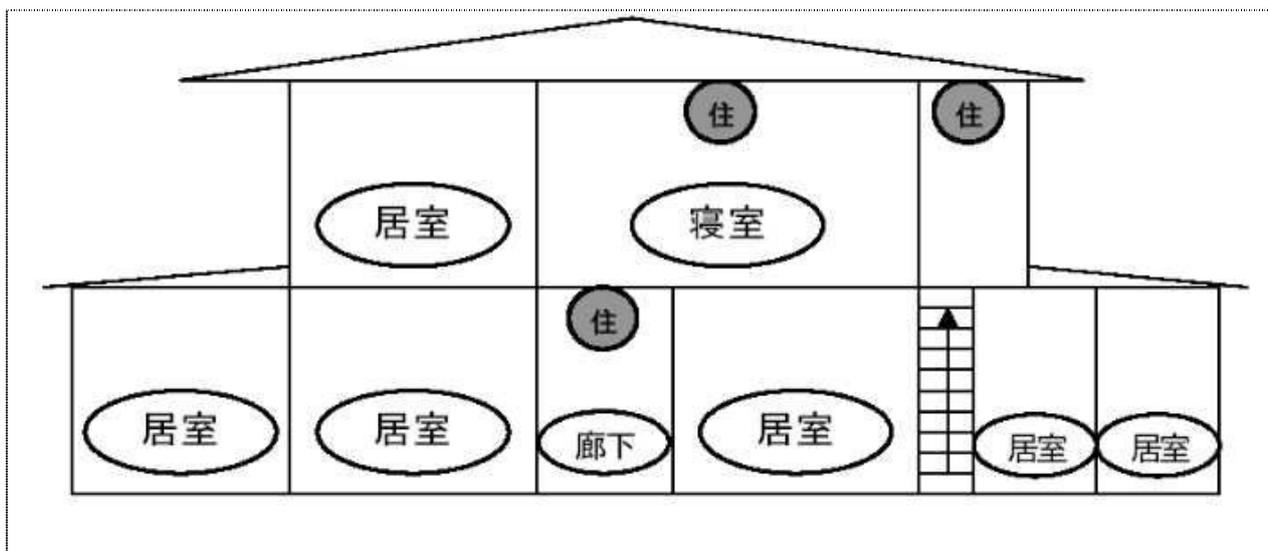
(5) 3階建てで寝室が3階に1室のみの場合



(6) 3階建てで寝室が1階のみの場合



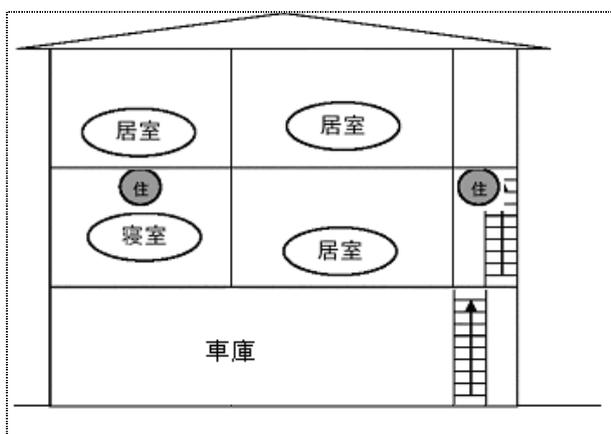
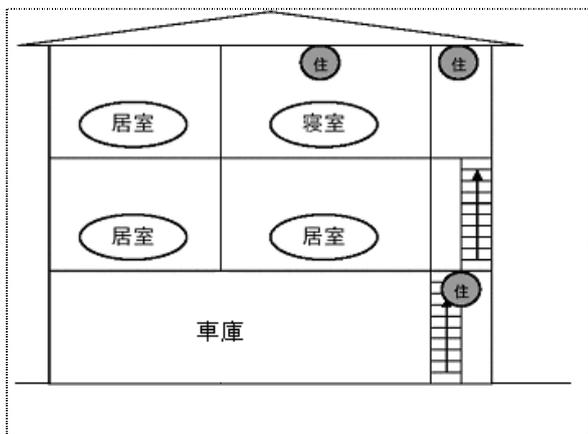
(7) 2階建てで寝室が2階に1室、1階に4畳半以上の居室が5つ以上の場合



(8) 高床式住宅の場合

・車庫から2階に上がる屋内階段があり
3階に寝室が1室ある場合

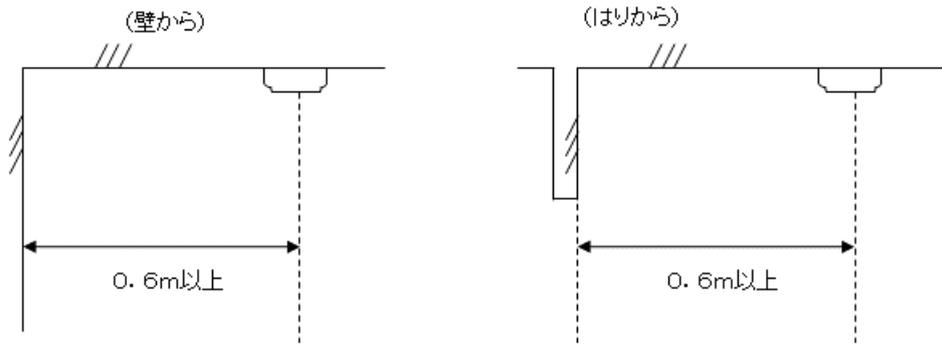
・車庫から2階に上がる屋内階段があり
2階のみに寝室が1室ある場合



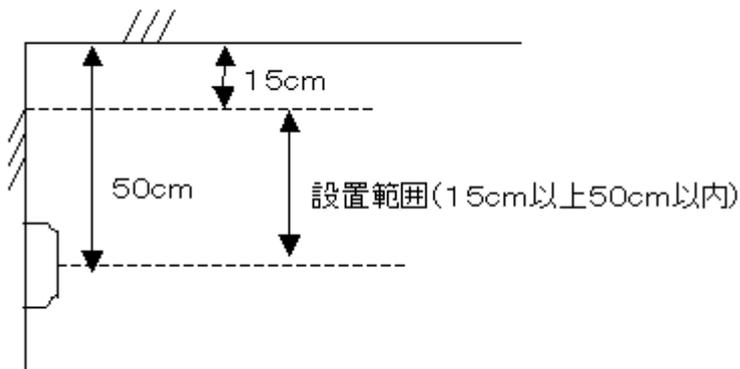
2 設置基準

(1) 煙式感知器を設置すること。ただし、柏崎市火災予防条例で設置を定めていない台所へ設置する場合は、調理時に発生する煙や水蒸気のかからない場所へ煙式感知器を設置し、煙や水蒸気を避けられない場合は、ガスコンロの真上以外に熱式感知器を設置するよう指導すること。

(2) 天井に設置する場合は、柱・梁から0.6m以上離れた場所に設置すること。



(3) 壁に設置する場合は、天井から15cm以上、50cm以内に設置すること。



(4) エアコン・換気扇付近に設置する場合、吹き出し口から1.5m以上離れた位置に設置すること。

